

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・海外からの大型客船が結構入る予定もあり、日本人観光客もかなり商店街に流入される。イベントも多数あるので、商店街全体が賑わってくる。
		商店街（事務局長）	・瀬戸内国際芸術祭が始まり、人通りも多く活気がある。観光面では間違いなくプラスとなっている。消費マインドも上がってきており、株価等が安定して伸長すれば消費環境は改善される。
		スーパー（店長）	・気候が順調に推移すれば、単価、販売量とも一定の数字を稼げると予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・4月に入り、年度が変わり、暖かくなることで衣料品も動いてくる。
		住関連専門店（経営者）	・マイナス金利を受けて、住宅建築が増えてくる。住宅が建てば、住宅に関連する商品も売れてくると予想している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・春から夏にかけて一番よく売れるシーズンを迎え、これから景気は少し良くなる。
		タクシー運転手	・今後ますますお遍路の仕事が増えるので、景気は今よりはまた良くなる。
	変わらない	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・好転しそうな要因が見当たらない。
		百貨店（販売促進担当）	・食料品や化粧品の売上は安定して推移するものの、衣料品は不振が続く、高額品の好不調にも跛行が予想される。
		百貨店（営業推進）	・県内の景気は、依然として回復基調には至っておらず、求人倍率はやや上昇し1倍を超えているものの、まだまだ景気は改善されていない。百貨店も、前年同月比で衣料品の売上が非常に悪く、特に婦人服、紳士服が悪いということは、まだまだ景気の回復は遠い。
		スーパー（企画担当）	・商品の値上がりから1年経過するため、客単価への影響は薄まってくるが、買い控えの流れを変える要因が見当たらないので売上の回復は厳しいと見る。
		コンビニ（店長）	・現状より上向くとは考えられず、現状維持である。
		コンビニ（総務）	・余程の消費刺激策を行うほかに景気が良くなる方法がない。
		コンビニ（商品担当）	・競争環境の激化による影響や、販売不振から来るモチベーションの低下、人員不足等から、良くて現状維持と予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・4～5月は本来であれば非常に良い月だが、3月の最後の1週間が相当厳しかったので、多少懸念している。順調に推移すればゴールデンウィークまではそこそこ良い感じにいくのではないかと期待が大きく、希望を持っている。
		衣料品専門店（経営者）	・原油安のため当分は変わらない。
		衣料品専門店（総務担当）	・単品買いの傾向がより強くなっているように感じる。景気の良い話はなく、生活防衛のために買い控えていると話される客が多い。
		乗用車販売店（従業員）	・年末発売の新型車で販売量の大幅増を期待していたが、市場は大きくは変わらず、落ち着いている。客からも購入を急がないとの声が多く聞かれ、市場は大きくは動かない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売等で商品には恵まれているものの、販売状況は良くも悪くもない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・賃金の上昇は見込めず、状況に変化はないと見ている。
		観光型旅館（経営者）	・前年同月比で予約状況はあまり増えていない。
		都市型ホテル（経営者）	・宿泊予約が4月までは順調であるが、地元客が利用するレストランや宴会場といった料飲部門が今一つ動きが悪い。ホテル全体としては、あまり変わらない。
		旅行代理店（営業部長）	・円高、燃油の値下げで海外旅行需要の増加を期待したが、ブリュッセルの同時多発テロにより、旅行、ビジネスともに海外需要の落込み不安が大きい。
		タクシー運転手	・5～6月、ゴールデンウィークもあるが、例年客はマイカーまたは公共交通機関を使うということが多い、タクシー利用頻度増はあまり期待できない。また、客からは給料があまり上昇していないという話が多い。
	通信会社（社員）	・当分様子見の状況が続くと考えられる。	
	通信会社（支店長）	・選挙までは何らかの景気対策がでて、多少良くなることを期待しているが、あまり変わらない。	
	通信会社（企画）	・客の反応は例年と変わらない。良くなる要因もない。	

	観光遊園地（職員）	・今後も良くなっている状態を保っていく。	
	ゴルフ場（従業員）	・予約状況の推移が例年とあまり変わらない。	
	競艇場（職員）	・4～5月は本場開催日数が多く、また6月には周年記念競走が開催されるため、売上が期待できる。	
	美容室（経営者）	・依然として、節約傾向が見受けられる。	
	設計事務所（所長）	・消費増税の時期が不透明になってきたため、事業を先延ばしする客が出てきている。	
	住宅販売会社（従業員）	・来場者数は変わらないが、受注棟数が増えていない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・消費税増税が予定されており、消費が伸び悩んでいる様を感じる。アベノミクスも一部の大企業にしか効果を感じられず、地方の中小企業には無縁である。	
	商店街（代表者）	・日本経済にとって円安と円高のどちらが良いのか判断が難しい。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・ゴールデンウィークが明けてすぐに母の日があるので、イベント間隔が少ない今年は販売量の予測が難しいが、減るとみている。	
	百貨店（営業担当）	・今の状況が急に変わるとは思えず、このままの状況があと2～3か月続くと予想する。	
	スーパー（財務担当）	・賃金の伸びは限られ、円高、株安、マイナス金利等で消費者マインドは低下する。	
	乗用車販売店（従業員）	・4月からの社会保険料等の値上がり話題となっており、個人消費はより慎重になる。	
	乗用車販売店（役員）	・3月は好調に推移したが、4～5月は悪くなる。6月以降はマイナーチェンジもあって、景気は少し回復する。	
	通信会社（営業担当）	・総務大臣要請に伴うスマホ販売価格の見直しにより、販売数は前年比で落ち込むと予想している。	
悪くなる	通信会社（営業担当）	・季節変動の影響が大きい。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・地方は景気が良くなる要素がないため、消費者の財布のひもは固くなる一方である。	
	コンビニ（店長）	・客の購買力が弱く感じ、消費者の動向が掴めない状況が続いている。	
	乗用車販売店（営業担当）	・最需要期の2～3月が低調であったことを受け、今後しばらく厳しい状況で推移する。	
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	-	
	やや良くなる	-	
		食料品製造業（商品統括）	・円高からの円安局面に効果のアンバランスが顕著に出ており、価格要求に落差が大きかったが、為替も比較的安定していることもあって、バランスがとれてきており、利益改善に貢献している。
		繊維工業（経営者）	・春夏物の新商品が好評であり、夏までは売上が好調に推移するものと思われる。
		金融業（副支店長）	・取引先の12月末決算状況から見て、概ね前年並みの業績を確保している企業が多い。一部では設備投資案件も出てきており今後の見通しは好感を持てる。
		不動産業（経営者）	・最近、首都圏、関西地方からの出店、あるいは工場を開きたいというオファーが増えている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・所得が上がらずデフレ脱却できず、原材料は下がるものは無く、販売価格も上げられない。
		電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの確定受注量および受注見通しに特段の変化は認められない。
		建設会社（経理担当）	・民間工事量は増えたが、今後はあまり期待できない。競争が厳しく、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・これ以上は悪くならないと予想するが、新年度の公共工事次第である。
建設業（経営者）		・年度末に受注した仕事や一部の繰越業務を第1～第2四半期にかけて履行し、売上計上できる。例年この時期はやや悪くなるのだが、悪いところまでは落ち込まないと見込んでいる。	
広告代理店（経営者）		・日銀のマイナス金利導入により、地方金融機関は経費削減傾向にあり、一時的販促費の見直し等の話がある。また、地元資本の得意先は依然として消費低迷による売上不振の状況にある。従って多くの得意先の販促費等は、削減傾向から変わらない見込みである。	
やや悪くなる	木材木製品製造業	・春闘も思ったほど力強さを感じられず、購買意欲よりも出費の抑制に動くのではないかと。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今月の推移から見ると、むしろ下向きになると予想する。	
	鉄鋼業（総務部長）	・今後も量、価格共に低位で推移する見込みである。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・国内は好調ながら不透明感が増している。海外は原油価格下落による市況低迷もあって、市場縮小傾向にある。	

		輸送業（営業）	・ 2015年末に下げ基調となり値を下げ続けてきた燃料価格も先月に底打ちした後は、3月に入り反転し上昇に転じていることから、2～3か月先は相応に値を戻すと推察される。貨物自動車を多用する運送事業者にとって燃料油価格の動向は収支の鍵と言っても過言ではなく、燃料油価格上昇が見込まれる今後の経営環境は非常に厳しく、景気の上昇は極めて期待薄である。
		通信業（営業担当） 公認会計士	・ 全般的に地方企業からの広告出稿に勢いが感じられない。 ・ 設備投資に対しての客の考え方が非常に消極的になっており、マイナス金利にも動揺している。また、最近では、会食の回数も減っているようで、街全体的に景気がスローダウンしてきている。
	悪くなる	輸送業（支店長）	・ 景気マインドの冷え込みで先行きの見通しが暗い為、足元の消費が更に悪くなっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
(四国)	やや良くなる	民間職業紹介機関（所長）	・ 企業訪問で、採用数を増やしたいとか、いつ頃紹介してくれるのか、という問合せが非常に増えている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 消費税増税前に、ある一定の需要は見込める。
		職業安定所	・ 2月の有効求人倍率は1.38倍で、1月（1.42倍）より0.04ポイントの低下でおさまった。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ 3月の求人数は増えているが、これは就職活動の解禁によるものであり、採用者の話しと併せて判断すると、景気の良し悪しによるものではない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当） 求人情報誌（営業） 求人情報誌製作会社（従業員）	・ 新卒の採用が例年に比べて多く、派遣の需要が一時的に減少する可能性がある。 ・ 地元中小企業の人員不足は深刻である。大手に引き抜かれ、人員が減る場合も見受けられる。この状態が続くようであれば、地元企業の業績は厳しく、景気は悪くなる。 ・ 異動時期も落ち着き、求人数の減少が予想される。
	悪くなる	-	-